

ドローンロボット技術サービス産業創出事業 第2回事業評価結果

令和5年度第2回事業評価委員会を開催しました。

1. 目的

事業評価委員会は、外部の学識者等5名から構成されています。
専門的な立場から当該事業への意見、評価を求めることを目的としています。

事業評価委員

委員長	秀島栄三	教授	名古屋工業大学大学院
委員	村上 涼	ユニット長	名古屋商工会議所
委員	山下哲央	統括マネージャー	中部圏イノベーション推進機構
委員	片桐祐子	課長	中部経済産業局
委員	丹羽智裕	担当課長	愛知県
連携先	名古屋市		
事務局	(公財)名古屋産業振興公社		

(順不同敬称略)

2. 開催日時

第2回 令和6年2月19～22日

3. 会議内容

本事業の成果・効果評価、意見交換

4. 評価結果

第2回評価	評価基準	評価ポイント	評価
成果、効果	事業計画	事業は計画とおり完了できたか、進捗管理は妥当であったか。	A
	結果成果	本事業により当初想定した結果や期待した成果は得られたか。	C
	支援体制	採択事業者への支援体制は妥当であったか。	B
総合			C

評価記号

S(想定を大きく超える)、A(想定以上である)、B(想定どおりであるが、もう一工夫あると良い)、C(内容を見直し、次計画に修正案を活かす)

5. 事業への意見・助言

審査員からの助言・意見	審査員からの助言・意見への対応
<p>(今回の結果で、建物点検事業が計画と異なったのは、) 外部的な要因が大きかったと推測するが、もう少しフォローアップの頻度を上げて対応してほしい。 次年度計画にどの様に今回の学びを活かしていくのか十分に検討する必要がある。</p>	<p>次年度募集要綱・事業計画の見直しやフォローアップのやり方など、ご指摘いただいた課題を検討して実施方法等を見直し、事業目標達成に向けた広報活動や支援を行えるよう取り組んでまいります。</p>
<p>(補助対象となる費用について迅速に相談に応じるなど) 補助事業者に対しての情報提供や途中での様子伺いなどの支援策が考えられたかもしれない。</p>	
<p>募集要綱の見直しを検討してほしい。 企業選定にあっても計画実施の見込みを見極めることができるようにしてほしい。</p>	
<p>限定的な事業となっているので事業の見直しをしてほしい。 セミナーの開催時期を考え、事業への応募の広報も考慮して有効活用してほしい。 採択事業者への支援体制についてはどのような支援体制で何をするのかを明確にしておく必要がある。 サポートが十分であったか再検討するべきではないか。</p>	
<p>補助金交付決定後の採択事業者に対する進捗管理の頻度、方法を見直してほしい。 想定通り行かなかった際は早期時点での軌道修正をして対応してほしい。 支援内容や方法について、業界関係者等の意見等を参考にしてみてもどうか。</p>	